

4月定例山行 お花見山行

4月7日(日)

極楽寺山

参加者 16名

CL若木 一之 SL松尾 幸男
坂本、國本、円山、滝、宍戸佐、
清水、川村、熊野、堂垣内、八木、
山本、鬼武、三浦、(会友)三浦
コースタイム

JR 廿日市駅 10:00 →平良登山口
10:45 →極楽寺 12:10 →サクラの里
12:40 (昼食) 13:50 →アルカディア
アビレッジ 14:45 入浴、流れ解散



○

今年は桜の開花が早く、山の花を心配したが、極楽寺の桜はちょうど満開だった。廿日市駅に10時集合は、やまぼうしの集合時間としてはとても遅くて、参加されたみなさん「間違いじゃなかろうか」と心配だったそうだ。無理もない、9時集合にすればよかったと思っている。案の定、昼食は1時頃になってしまった。それでもみなさん怒りもせず楽しい花見昼食になってホッとしている。ここの桜は植えたばかりでまだ小さいが、それでも精一杯花を咲かせて私たちを歓迎してくれた。孫と杯を交わせる頃にはよい桜の公園になっていることだろう。帰りはアルカディアアビレッジによって汗を流し、送迎バスで廿日市駅まで帰った。なんとも優雅で楽しい一日を過ごすことができた。

(記 若木 一之)

○

極楽寺山は、高野山真言宗の別格本山、731年に開山し1562年毛利元就によって再興された古寺です。モミ、カシ、ブナの原生林が残されており、瀬戸内海国立公園でもあります。若い頃、水筒も持たずに登ったのに、この度はついていくことがつらかったけれど、木の芽を摘んだり、花に見とれているうちに憩いの森にたどり着きました。芝生の広場には、ウサギの糞がたくさんありその上に座って「見渡す限り桜は薄けど淡い緑の心和む」「今年一番の汗雫、一番のおいしいビール」食事もゆっくり、温泉もゆっくりはいました。身体に自信がないので不安でしたが、登山道もよいのでもう一度行きたいと思います。本年度もよろしく願います。ありがとうございました。

(記 國本 君子)